

大腸癌-13
 進行大腸癌
 アバスチン+FOLFIRI療法 患者プロトコール

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

投与プロトコール コース14日間 コース制限なし 《開始時基準 PS:0~1 年齢:18歳~75歳》		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキーブ	テルモ生食	500mL	Day1	—	5-FU:(持続)の投与量に 合せて、トレフューザー typeT流量換算表より生 食量を算出する。	
プレメディ	デキサメタゾン+5-HT3R拮抗剤+生食 100mL		Day1	30分		
①	アバスチン: 5mg/kg 生食 100mL	mg	Day1	使用上の 注意参照		
②	イリノテカン: 150mg/m² 5%ブドウ糖 500mL	mg	Day1	2時間		
③	レボホリナート: 200mg/m² 5%ブドウ糖テルパック 250mL	mg	Day1	2時間		
★②・③は、同時に投与						
④	5-FU:(急速)400mg/m² 5%ブドウ糖 100mL	mg	Day1	全開		
⑤	5-FU:(持続)2400mg/m² 生食 (トレフューザーtypeT流量換算表より算出)	mg mL	Day1	46時間		
◆アバスチンは、初回90分かけて滴下。問題がなければ2回目:60分、3回目以降:30分に時間短縮可能。 ◆5-FU持続投与では、トレフューザーtypeT150mLを使用し、3.7ml/Hrにて投与。 ◆5-FUと生食の比率で流速変化する為、生食投与量はトレフューザーtypeT流量換算表を参照すること。						

佐賀大学医学部附属病院